

教育目標 3つのポリシー

教育理念	ウィンタースポーツ、アウトドアスポーツ業界の担い手となる専門知識・技術、魅力ある人間力、プロフェッショナルな人材を育成する。 実践力、即戦力を兼ね備えた人材を育成し、日本のウィンタースポーツ、アウトドアスポーツの活性化を推進する。					
アドミッション ポリシー	<p>本校の求める人材像は以下の通りです。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. ウィンタースポーツ・アウトドア業界に必要な知識と技術を学びたいと意欲を持っている人 2. ウィンタースポーツ・アウトドアスポーツ業界で活躍したいという意欲を持っている人 3. 自ら学び、探求心を持っている人 					
ディプロマ ポリシー	<p>本校では以下のような能力を身につけ、かつ所定の単位を修得した学生に対して卒業を認定します。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 専門知識・技術、魅力ある人間力を備えていること 2. 各業界、地域社会で活躍・貢献できる実践力と行動力をもっていること 3. 創造力、問題発見力・解決能力をもっていること 					
	ウィンタースポーツ学科	スポーツビジネス学科	スノーボード学科	スケートボード学科	アクションスポーツ専攻科	大学併修研究科
教育目標 (育成人材像)	業界に必要な絶対的な技術と知識、実績と魅力ある人間性を育みウィンタースポーツに親しみウィンタースポーツを普及発展させる姿勢と態度を育成する。	専門知識・技術、ビジネススキルの獲得と人間力を磨き、業界で活躍できる人間力豊かな人材を育成する。	専門知識・技術の向上、実績ある人材育成を目的とし、国際舞台、業界で活躍できる、貢献できる人材を育成する。	ボードスポーツ業界に必要な絶対的な技術と知識、実績と魅力ある人間性を育成することを目的とする。	専門知識・技術の獲得と人間力を磨き、ウィンターエンターテイメント業界で即戦力となり活躍できる人材を育成する。	専門力とビジネス力を兼ね備え実践力と経験値、豊かな人間性を育成することを目的とする。生涯スポーツを普及発展させる姿勢と態度を育成する。
カリキュラムポリシー	<p>本校では、教育目標・人材育成像に則り学生が主体的に学習できるようにカリキュラムを編成し、これに従って教育を実施する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・滑走技術習得のため多くの雪上実習時間を設置する。 ・専門知識・コミュニケーション能力など社会人として必要な教養科目を設置する。 ・業界で活躍できる知識と技術を習得を目指し実習や研修を設置する。 	<p>本校では、教育目標・人材育成像に則り学生が主体的に学習できるようにカリキュラムを編成し、これに従って教育を実施する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・知識、技術、資格取得を目指す科目・実習を設置する。 ・業界、企業連携を図り、幅広い知識と技術を獲得する科目を設定する。 ・ビジネススキルに加えコミュニケーションや協調性、責任感の習得を目指し教養科目、実習を設定する。 	<p>本校では、教育目標・人材育成像に則り学生が主体的に学習できるようにカリキュラムを編成し、これに従って教育を実施する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・経験豊富な滑走技術習得のため多くの雪上実習時間を設置する。 ・業界で活躍できる人材育成を目指し実習や研修を設置する。 	<p>本校では、教育目標・人材育成像に則り学生が主体的に学習できるようにカリキュラムを編成し、これに従って教育を実施する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・経験豊富な知識、技術、資格取得を目指す科目・実習を設置する。 ・スケートボード業界、企業連携を図り、幅広い知識と技術を獲得する科目を設置する。 ・ビジネススキルに加えコミュニケーションや協調性、責任感の習得を目指し教養科目、実習を設定する。 	<p>本校では、教育目標・人材育成像に則り学生が主体的に学習できるようにカリキュラムを編成し、これに従って教育を実施する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・専門技術習得のため多くの実技・演習時間を設置する。 ・専門知識やインターンシップ、社会人、業界人として必要な教養科目を設置する。 ・業界で活躍できる知識と技術の習得を目指し、実習や研修を設置する。 	<p>本校では、教育目標・人材育成像に則り学生が主体的に学習できるようにカリキュラムを編成し、これに従って教育を実施する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・経験豊富な技術習得のため多くの実技・実習系時間を設置する。 ・ビジネス教養、外部連携実習など社会人、業界人として必要な教養科目を設置する。 ・業界で活躍できる知識と技術の習得を目指し、実習や研修を設置する。